



5月8日、県立農業大学
校で、市内12小学校の4年
生を中心とした約400人
が「さしま茶ふれあい学習」
をおこないました。

この学習は、地元の特産
品であるさしま茶について
子どもたちに知ってもらお
うと、茨城県茶生産者組合
連合会坂東支部が主催。子
どもたちは夢中になって新
芽を摘み取り、楽しみなが
ら学びました。

さしま茶ふれあい学習



① お茶の説明



茶からできるのは緑茶、
ウーロン茶、紅茶です。

② 茶摘み体験



「一芯二葉」という摘み
方を教わりました。

③ 製造工程見学



蒸したてのお茶の葉は、
とても良い香り。

④ 新茶の試飲



苦いけどおいしい。
おかわり。もう一杯！

市の特産品さしま茶は、歴史が深く、日本で初めてアメリカに輸出
されたお茶です。

今から約160年前、岩井の豪農・中山元成翁^{なかやまもとより}は、ペリーの浦賀来
航を機に海外市場に注目。さしま茶の宣伝に奔走し、1859年(安
政6年)、アメリカへの輸出に成功しました。

県立農業大学校内の
中山元成翁の像

